

前回部会（平成 25 年 2 月 28 日）における指摘事項

番号	指 摘 事 項	事 業 者 の 考 え 方																																							
1	<p>将来の施設のばい煙中の硫黄酸化物濃度及びばいじん濃度は実態としていくつか。</p> <p>また、これらの濃度を 0 と表記することは適切か。</p>	<p>新たな発電所のばい煙中のこれらの濃度の表記については、当社の既存 LNG 火力発電所における電気事業法に基づく届出と同様に「0」としております。</p> <p>なお、ガス田から採掘した天然ガス中には、様々な成分が含まれていますが、天然ガスを液化する処理工程において、硫黄分等の不純物は除去されます。</p> <p>排ガス中の硫黄酸化物の測定実績はありませんが、LNG（燃料）中の硫黄分の測定実績は検出限界（2 mg/m³N）未満であり、排ガス中に硫黄酸化物は検出されないものと考えています。</p> <p>また、排ガス中のばいじん濃度については、新名古屋火力発電所における測定（測定方法：JIS Z8808 による）実績は、定量下限値（0.5mg/m³N）未満です。</p>																																							
2	<p>仮設沈殿池の容量及びその根拠を説明されたい。</p> <p>また、ゲリラ豪雨等が発生した場合も想定しているのか。</p>	<p>仮設沈殿池は、5年確率の日最大降雨量である 162.7mm を対象に、自然沈降による除去率 60% 以上を確保できる計画（設計諸元は下表のとおり）であり、当社の工事实績から想定される浮遊物質量（SS）200mg/L の流入水を 80mg/L 以下に処理して放流できます。</p> <p>なお、ゲリラ豪雨までは考慮しておりませんが、設計以上の降雨が発生した場合には、仮設沈殿池への流入量を調整する等により適切な措置を講じ、水質汚濁防止に努めます。</p> <p style="text-align: center;">仮設沈殿池の設計諸元</p> <table border="1" data-bbox="864 1013 1928 1315"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>単位</th> <th>飛島村の 対象事業実施区域</th> <th>知多市の 対象事業実施区域</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">排水量</td> <td>m³/日</td> <td>24,600</td> <td>310</td> <td>5年確率の日最大雨量：162.7mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">仮設沈殿池</td> <td>容 量</td> <td>m³/か所</td> <td>750</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置数</td> <td>か所</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>最大時</td> </tr> <tr> <td>除去率</td> <td>%</td> <td>64</td> <td>62</td> <td>現地土の粒度分布より算定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水質</td> <td>流 入</td> <td>mg/L</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>過去の工事实績</td> </tr> <tr> <td>排 水</td> <td>mg/L</td> <td>72</td> <td>76</td> <td>自主管理値：80mg/L 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目		単位	飛島村の 対象事業実施区域	知多市の 対象事業実施区域	備 考	排水量		m ³ /日	24,600	310	5年確率の日最大雨量：162.7mm	仮設沈殿池	容 量	m ³ /か所	750	30		設置数	か所	3	1	最大時	除去率	%	64	62	現地土の粒度分布より算定	水質	流 入	mg/L	200	200	過去の工事实績	排 水	mg/L	72	76	自主管理値：80mg/L 以下
項目		単位	飛島村の 対象事業実施区域	知多市の 対象事業実施区域	備 考																																				
排水量		m ³ /日	24,600	310	5年確率の日最大雨量：162.7mm																																				
仮設沈殿池	容 量	m ³ /か所	750	30																																					
	設置数	か所	3	1	最大時																																				
	除去率	%	64	62	現地土の粒度分布より算定																																				
水質	流 入	mg/L	200	200	過去の工事实績																																				
	排 水	mg/L	72	76	自主管理値：80mg/L 以下																																				

番号	指 摘 事 項	事 業 者 の 考 え 方
3	<p>煙突や建屋のデザインは周辺構造物等との調和を考えたものか。</p> <p>また、名古屋港カラー計画との整合性はどうか。</p>	<p>新たな発電所の色彩計画にあたっては、名古屋港の玄関口としてウォーターフロントの修景、物流の中心としての躍動感あふれる景観との調和を図り、シンボル性や中・遠景から見た眺望を考慮した美しさを感じさせるものとするをコンセプトとし、基調色は、背景の空、遠景の山脈等との色彩調和性の高いグレー系色とし、アクセントカラーとして、名古屋港の玄関口であるウォーターフロントの爽やかさを感じさせるブルー系色を配色することとしました。</p> <p>なお、景観アドバイザー制度（名古屋港管理組合）による景観アドバイザーから、ブルー系色を際立たせるため、アクセントラインの上下に白に近いグレー系色のラインを施すことや、煙突については、白一色の方が良いとの助言を得ております。</p>
4	<p>知多第二火力発電所において、ミカワオサムシの生息域を改変することによって、ミカワオサムシが餌としている種への影響はないか。</p>	<p>ミカワオサムシは、発電所構内緑地（約 4.4 万 m²）に広く生息していること、工事に伴う一時伐採緑地（約 0.1 万 m²）は限られていることおよび一時伐採緑地は原状復旧することから、ミカワオサムシおよびミカワオサムシが餌としている種への影響は小さいものと考えます</p>
5	<p>知多第二火力発電所のハヤブサについて、事業実施区域外だからという理由だけで、影響はないと評価してよいか。</p>	<p>【検討中】</p>
6	<p>施設の稼動に係る温室効果ガス等について、排出量についても評価を記載されたい。</p>	<p>西名古屋火力発電所では、準備書第 8 章の「第 8.1.8-5 表」に示したとおり、年間の発電電力量が現状の約 64 億 kWh から将来は約 162 億 kWh に増加し、年間の二酸化炭素排出量は現状の 411 万 t-CO₂ から将来は 552 万 t-CO₂ に増加しますが、高効率なコンバインドサイクル発電設備の導入等の環境保全措置を講じることにより発電電力量当たりの二酸化炭素排出量について実行可能な範囲内で低減していますのでその旨評価書に記載します。</p>

